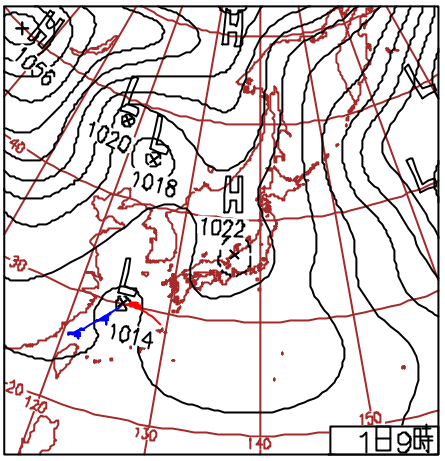
日々の天気図

No. 25

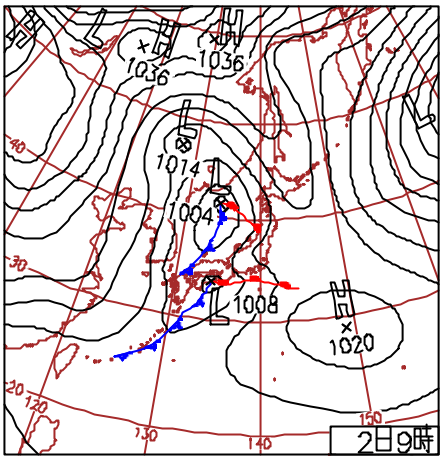
2004年 2月

- 8日 北陸で大雪。富山の降雪量52cm/24h。
- 15～16日 北日本や北陸で暴風雪・高波。秋田の最大瞬間風速32.4m/s。
- 22～23日 低気圧が北海道で発達。道東地方で40cm/24hを超える降雪。網走で観測史上最深積雪143cm。
- 29日 九州で30mm/h超の激しい雨。佐世保市の24時間雨量124mm。



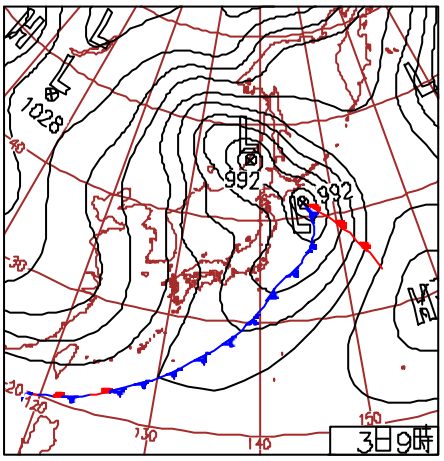
1日(日)福江で「うぐいす初鳴き」

高気圧が本州を足早に通過。九州や四国は曇り、その他の地方は概ね晴れる。日本海と東シナ海に低気圧が進み、夕方には全国的に曇り、九州・沖縄で所々雨。



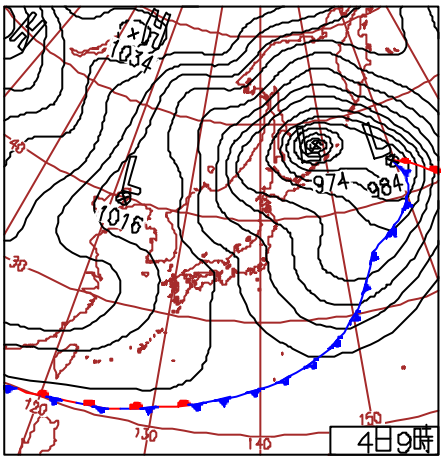
2日(月)関東 久しぶりの雨

前線を伴った低気圧が本州南岸と日本海にあってそれぞれ北東に進み、日本付近は気圧の谷に入り、全国的に雨や雪。低気圧が暖かい空気を運び西日本中心に平年より気温高い。



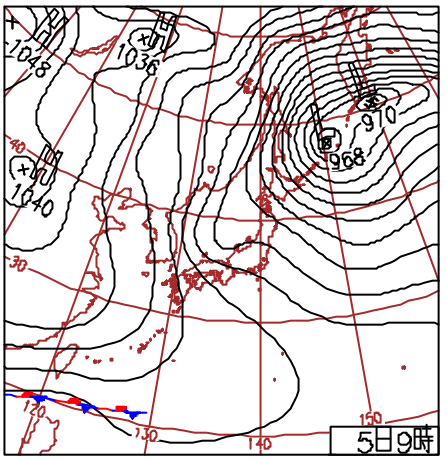
3日(火)冬型 次第に強まる

本州南岸を通過した低気圧が三陸沖で発達。北日本や日本海側で雪や雨。道東地方の網走市や帯広市では降雪量15～20cm。太平洋側は前線がゆっくり南下し、始めのうち曇り。



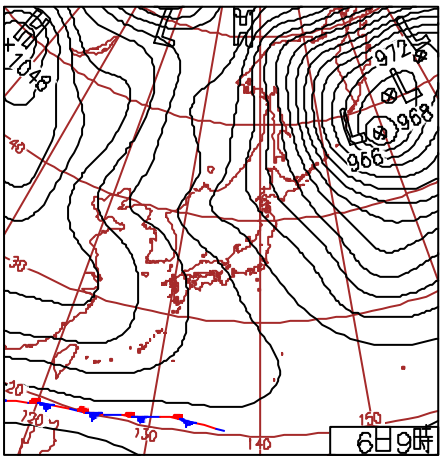
4日(水)奈良で「ひばり初鳴」

冬型の気圧配置が強まり、日本海側は雪、太平洋側は晴れ。奈良で昨年より3日早い「ひばり初鳴き」。岩手県沖で地震、岩手県盛岡市等で震度4。



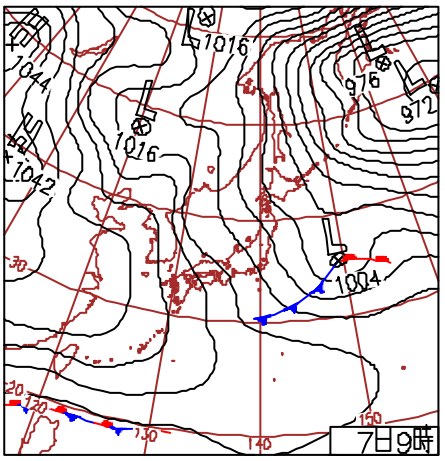
5日(木)札幌で雪祭り始まる

冬型の気圧配置が続き、輪島の上空約5500mに-38.7℃の強い寒気が入り、九州・四国も雪。札幌では夕方から強い雪が降り、21時の積雪は89cm。



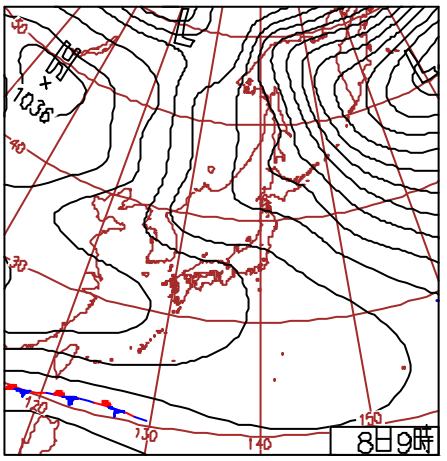
6日(金)北陸で大雪

北日本の上空に寒気が残り、日本海側は雪や雨が続く。北陸や長野・岐阜の山を中心に40cm/24hを超える大雪。太平洋側は晴れ。九州・沖縄の最高気温は、平年より3～6℃低い。



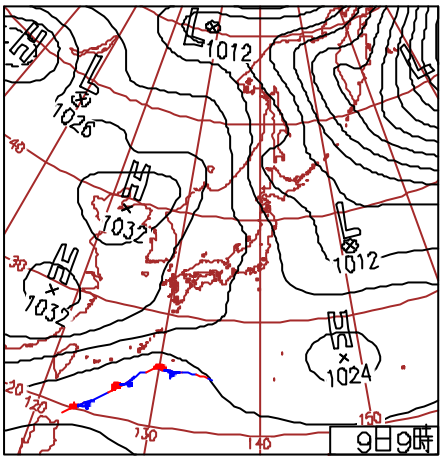
7日(土)流氷ウォーキング

冬型の気圧配置が続く。最高気温は全国的に低く、西日本・南西諸島では平年より4～8℃低い。ニューギニアでM7.1の地震。知床半島で流氷ウォーキングが始まる。



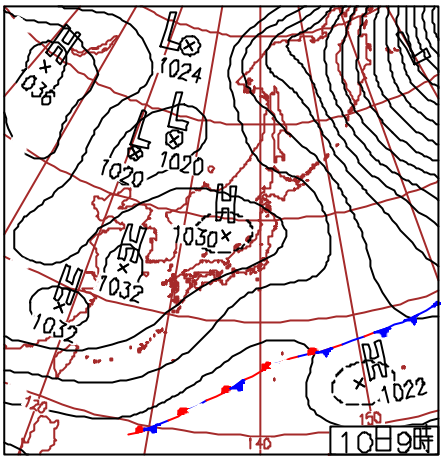
8日(日)北陸以北で雪

北海道上空に-42℃以下の新たな寒気が入り、冬型の気圧配置が続く。富山市では午前9時までの24時間に52cmの降雪。太平洋側や南西諸島では平年より2～4℃低く寒い朝。



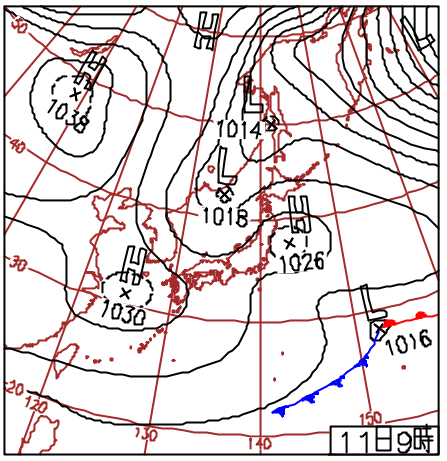
9日(月)青森県・深浦沖で竜巻

北日本・東日本は冬型の気圧配置。西日本では高気圧が北に偏り、曇りの所が多い。南西諸島は前線の影響で雨。青森県深浦沖で17時頃竜巻を観測。



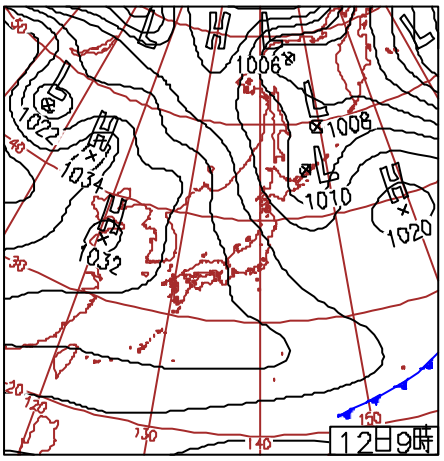
10日(火)全国的に穏やかな晴れ

日本付近は日本海を進む移動性高気圧に覆われる。全国的に風は弱く、北日本の一部で雪の他は晴れ。那覇で平年より3日遅くヒカンザクラ満開。



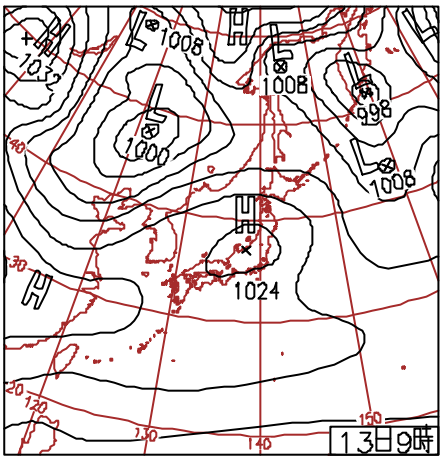
11日(水)キャンプ日和

高気圧に覆われ、午前中は全国的に晴れ。気圧の谷が日本海に進み、日本海側は午後に雪や雨。プロ野球のキャンプ地の高知・宮崎・沖縄では気温は平年より高く、終日晴れ。



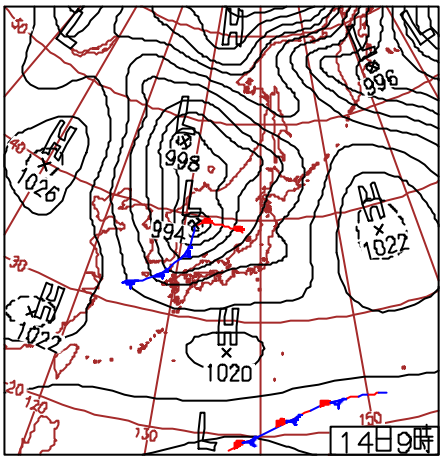
12日(木)北海道 暖かい朝

東シナ海の移動性高気圧が西日本に張り出し、北日本の日本海側で雪の他は概ね晴れ。北海道の朝の最低気温は平年より4～11℃高く、旭川では平年より10.9℃も高い。



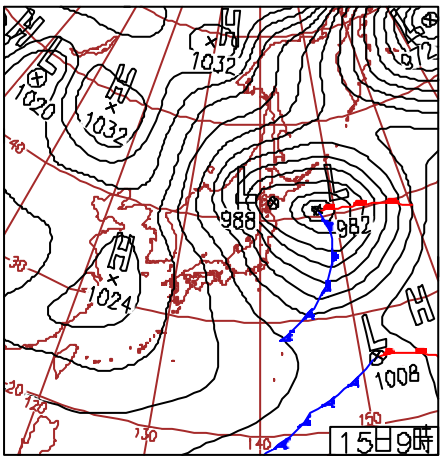
13日(金)銚子では「真冬並み」

移動性高気圧に覆われて全国的に穏やかな天気。最高気温は全国的に3月上・中旬並だが、関東南部では北東風の影響で気温が上がらず、銚子は9℃で「真冬並み」。



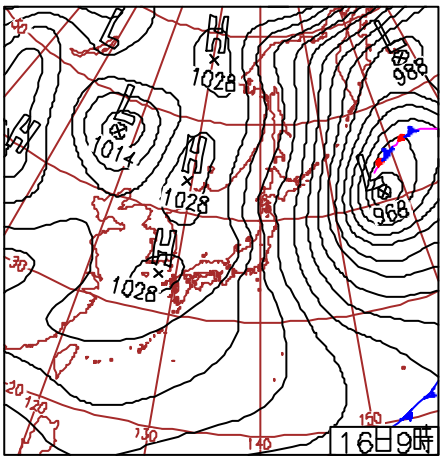
14日(土)各地で春一番

低気圧が日本海で急発達。全国的に南よりの強い風が吹き込み、気温は平年より5～9℃高い3月下旬～4月上旬並に上昇。午後には寒冷前線が通過し、気温も下がる。



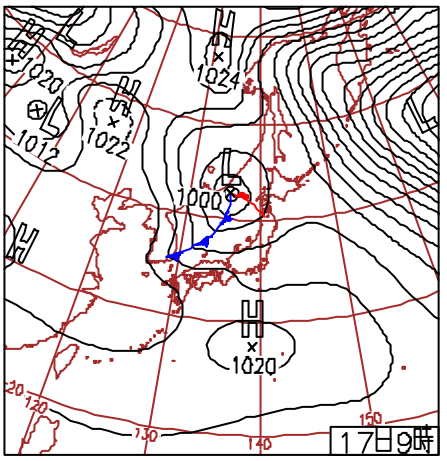
15日(日)北日本 大荒れの天気

発達した低気圧が津軽海峡付近を通過。北日本・北陸を中心に大雪や暴風。最大瞬間風速は秋田市32.4m/s、白河市31.4m/s。東日本の太平洋側や西日本・南西諸島は晴れ。



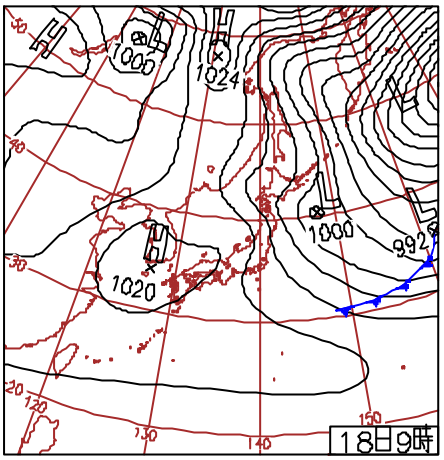
16日(月)北日本冬型

冬型の気圧配置が続き、北日本の日本海側や北陸地方で雪、その他は晴れ。日本海中部と日本の東海上はしけが続く。仙台市で最大瞬間風速28.6m/sを観測。



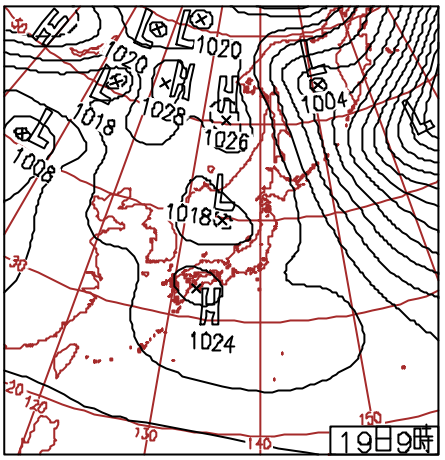
17日(火)新千歳空港で60便欠航

北海道を低気圧が通過。北日本では後半冬型の気圧配置が強まり、北海道を中心に大雪。新千歳空港の21時までの6時間降雪量は13cm。



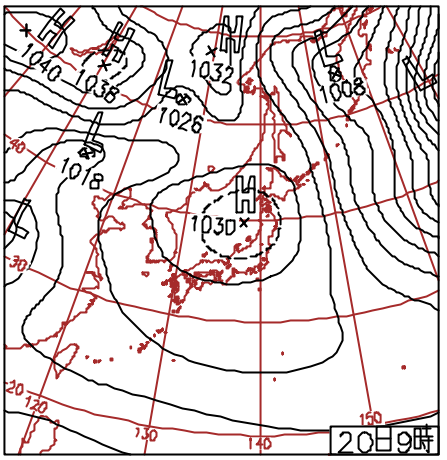
18日(水)西から快晴域広がる

対馬海峡の高気圧が東日本に張り出し、北日本の一部で雪の他はほぼ快晴。最高気温は平年より2～8℃高い。アリューシャン付近の低気圧は948hPaまで発達。



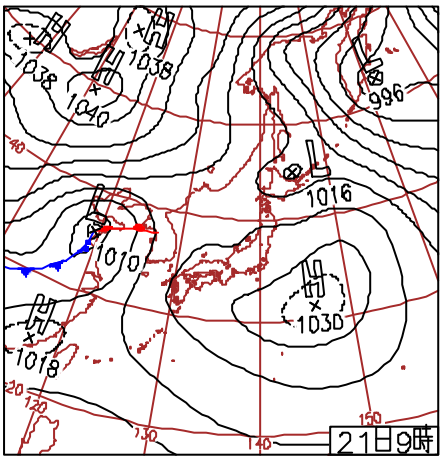
19日(木)高温続き

東北地方を気圧の谷が通過し、東北地方は曇りや雨、雪。その他は概ね晴れ。最高気温は北日本を除いて平年より高く、4月上旬並。熊谷で平年より約1ヶ月早くタンポポが開花。



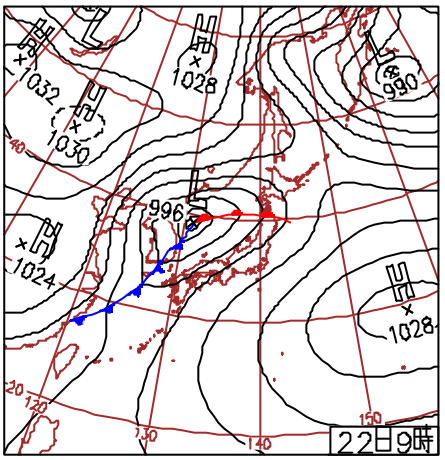
20日(金)九州は初夏の陽気

移動性の高気圧に広く覆われ、全国的に晴れ。九州～東海では最高気温が4月上旬並まで上昇。大分県日田市は24.0℃で2月の記録、八丈島では最も遅いウメ開花。



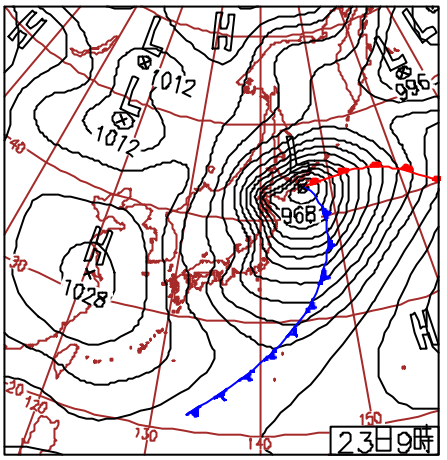
21日(土)富山湾で蜃気楼

高気圧の東進に伴い、暖かい南よりの風が流入。全国的に気温が上昇し、九州・中国地方の一部で2月の最高気温の記録を更新。大分県日田市は25.2℃の夏日で、記録を再更新。



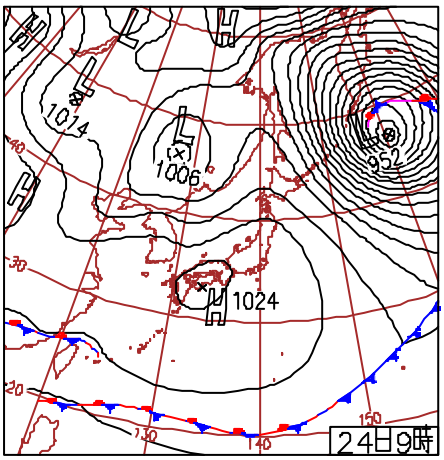
22日(日)日本海低気圧発達

日本海で低気圧が急速に発達。寒冷前線の通過時には各地で20～40mm/hの雨。渡島半島は日雨量100mmを超える大雨。東京の最大瞬間風速29.1m/s。



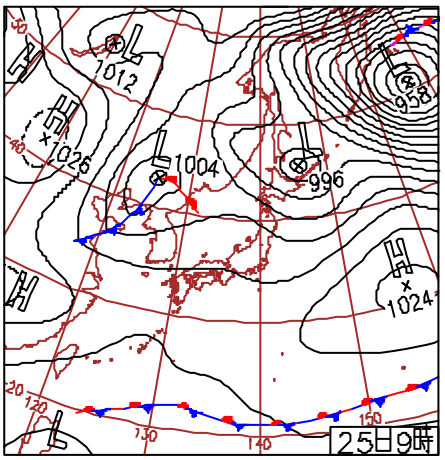
23日(月)北海道 大荒れ

低気圧が北海道付近でさらに発達。北日本は大雪・暴風雪。道東は記録的な大雪。降雪量は帯広市47cm/24h、網走市40cm/24h。網走市の積雪143cmは観測史上最深。交通機関混乱。



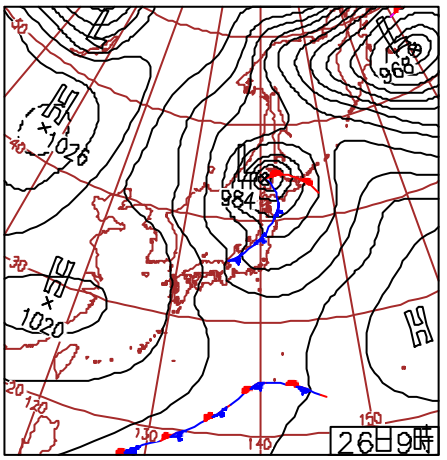
24日(火)モロッコで地震

日本海北部に気圧の谷が近づき、西日本から次第に曇る。日中は晴れて気温が上昇し、全般に3月並の気温。豊岡で最も早いウグイス初鳴。モロッコで地震、犠牲者200人以上。



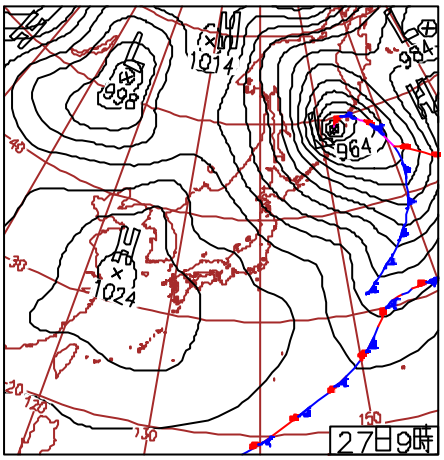
25日(水) 全国的に春の陽気

北日本では未明に気圧の谷が通過し、一時雪や雨。日中は、帯状の高圧部に覆われて全般に晴れ。最高気温は全国的に更に上昇し、多くの所が3月下旬～4月上旬の陽気。



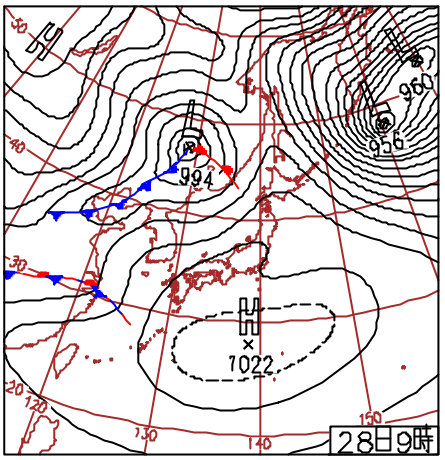
26日(木)今年最初の黄砂を観測

前線を伴った低気圧が北海道北部を通過し、北海道は大荒れ。前線の影響で北陸から東北では雨の所が多いが、その他は晴れ。近畿・四国・奄美で今年初の黄砂を観測。



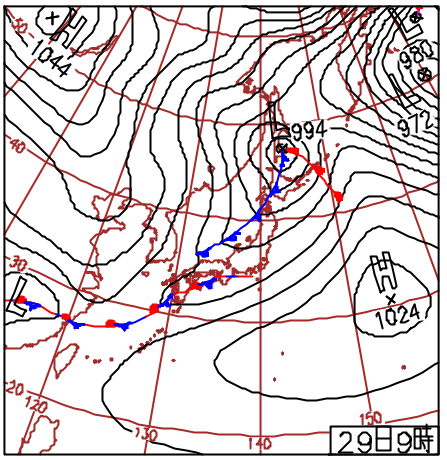
27日(金)春から冬に戻る

北日本を中心に冬型の気圧配置。北日本は雪、西日本は概ね晴れ。前日の南風から北風に代わり、全国的に気温が下がる。最高気温の前日との差は、網走-12℃、東京-10℃。



28日(土)千葉県沖で地震

中国東北部の気圧の谷が夜には日本海に進む。午前中は全国的に晴れるが、午後は次第に曇って九州は雨。最高気温は全国的に平年より2～5℃高い。千葉県で震度3の地震。



29日(日)九州で短時間強雨

前線の南下に伴い全国的に曇りや雨。九州では1時間に30mmを超える激しい雨。佐世保市の24時間雨量は124mm。松山市でモンシロチョウ初見。